

# 反処分-怒りの減産闘争に総決起！

## 日刊 勤労千葉

79.12.30

No. 313

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六・公衆) 日三(22)七二〇七

いかに闘争も反処分-怒りの減産闘争に総決起！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

勤労千葉一四〇〇組合員は、国鉄当局の政治的処分としての解雇を含む一〇六名にも及ぶ大量不当処分の攻撃に対し、全支部・全職場において直ちに、怒りの反撃と抗議の闘いに決起した。勤労千葉闘争指令第3号にもとづき、各支部は、抗議集会の開催、現場長への追及行動などを連続的に展開し、12月28日〜30日の3日間、全組合員対象の減産B行動へと突入していった。この闘いは、第一日目、第二日目とも、全組合員の怒りの闘いによって各列車とも大中を遅れとなり、千葉管内の列車ダイヤは、大きく終日とも混乱するという成果をかちとり、反処分闘争の高揚をつくり出した。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 千葉以東各線区で特急・急行列車を中心に大巾遅延！

各支部の怒りに燃えた減産B行動によって、全列車とも大きな遅れがつくり出されたが、とりわけ千葉以東の各線区において早朝から終日にわたって各列車とも大巾な遅れを現出していた。外房線では、初列車から遅延し、特急・急行はのきなみ27分〜46分という列車遅延、成田線でも、特急・急行を中心に10分〜35分の遅れを現出、その他総武本線、内房線、木原線、東金線、久留里線などの線区でもローカルを含めて、5分〜20分、貨物列車も大巾に遅れるという闘いを連日、貫徹し抜いた。

首都圏を縦貫する総武緩行線は、10分〜14分の遅れの中で2往復計4本の運休を闘いとり、快速線においても直通列車が10分〜25分の遅れ、その他は7分〜12分という状況をつくりだしたのである。

こうして減産闘争は、28・29両日で合計全列車あわせて九〇〇〇分の列車遅延を闘いとったのである。

### こじつけの処分事由に終始する！ 千鉄当局の姿勢を糾弾する！

反処分・抗議減産の闘争第一日目の12月28日、千鉄局において各支部から一〇〇名の抗議団が結集する中で、抗議交渉が展開された。

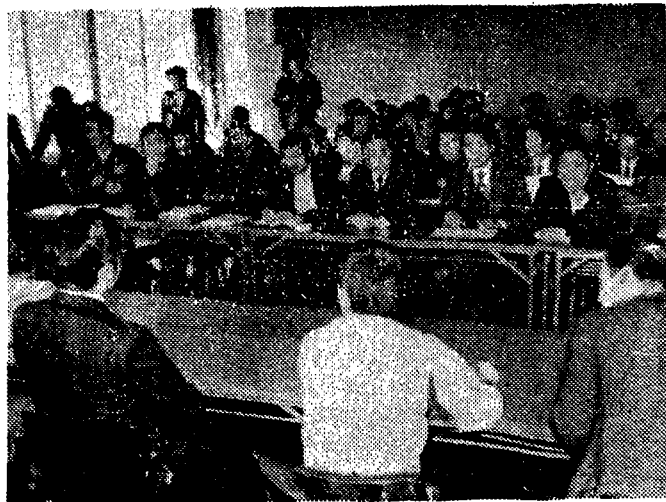
勤労千葉破壊ともいえる今回の不当処分に全体の怒りが爆発し、怒声の中で抗議交渉は始まった。組合側よりの鋭い、しかも怒りに満ちた追及に対し、当局は、オロオロして小声で、理由ならざる理由の言い訳に終始した。とりわけ「10・30津田沼暴行事件」については、「当局は現認している、名前が判った以上処分せざるをえない」などとデッチ上げ、「職場秩序を乱した」とこじつけ

を行うにいたって、当局・「本部」反動革マル分子の一体化を決定的に暴露したのである。

そもそも、職場秩序を乱し暴力的破壊を行っているのは、一体どこなのか。「本部」反動革マル分子を庁舎内に入れているのはだれなのか。そしてこれら一切の暴力行為を容認しているのはだれなのか。他ならぬ、国鉄当局ではあるのか。

全組合員のみなさん！

われわれは、こうした、「本部」反動革マル分子をようごする国鉄当局の姿勢をきびしく弾劾するとともに、長期強じんな非協力闘争を貫徹しよう。そして反処分闘争の貫徹をとおして、80年代を闘う自前の労働運動確立へ向けてのさらなる高揚をかちとろう。



### 勤労千葉団結旗開き

### 家族もともに結集しよう

とき一九八〇年二月十二日十三時

ところ 千葉県芳村者福祉センター

大ホール